

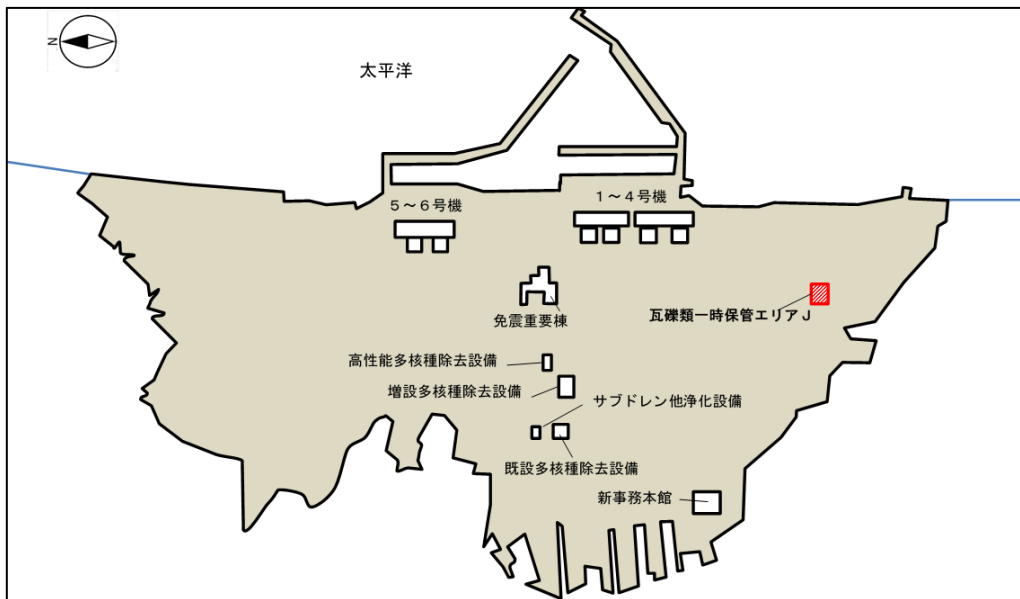
福島第一原子力発電所現地確認報告書

- 1 確認日
令和5年3月14日（火）
- 2 確認箇所
瓦礫類一時保管エリア J
- 3 確認項目
瓦礫類一時保管エリア J の現況
- 4 確認結果の概要

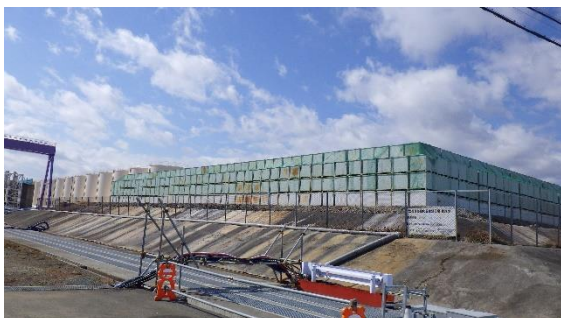
東京電力では、中長期ロードマップの目標工程「2028年度内までに、水処理二次廃棄物及び再利用・再使用対象を除く全ての固体廃棄物（伐採木、瓦礫類、汚染土、使用済保護衣等）の屋外での保管を解消」の達成のため、瓦礫等（伐採木・瓦礫類・使用済保護衣等）については、より一層のリスク低減をめざし、可能な限り減容した上で建屋内保管へ集約し、固体廃棄物貯蔵庫外の一時保管エリアを解消していくとしている。

本日は、構内の管理型最終処分場上に設置された瓦礫類一時保管エリア J（以下「一時保管エリア J」という。）の状況を確認した。（前回確認：平成29年11月8日）（図1）

- ・一時保管エリア J では、1 m³コンテナが2～4段積みで保管されており、コンテナの一部は緑色のネットで覆われていた。（写真1）
- ・エリア内では、仕分け作業エリアが形成されており、積み上げられたコンテナを作業エリアにフォークリフトで運び、コンテナの内容物確認・分別作業を実施していた。（写真2）
- ・コンテナの一部には錆が生じるなど劣化しているものも見受けられたが、確認した範囲で廃棄物の飛散・流出は見られなかった。（写真3）
- ・エリアの周囲においても仕分け作業エリアが複数確保されており、単管パイプのバリケードやロープ等で区画された仕分け用作業エリアには、1 m³コンテナが2～3段積みで仮置きされていた。（写真4）



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1)
一時保管エリアJの外観



(写真1-2)
一時保管エリアJのコンテナ保管状
況の例



(写真2)
エリア内の仕分け作業の状況



(写真3)
表面が劣化したコンテナの例



(写真4)
エリア周辺の仕分け作業エリアの例

- 5 プラント関連パラメータ等確認
本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。